

2022年度 実務経験のある教員による授業科目

担当者名	授業科目名	単位数	配置学科	授業概要
榎本 恒	榎本 専門ゼミナールⅠ	1	経営総合学科	税理士として23年間事務所経営を営んでいる担当教員が、FPの実践を通じた段階教育の中間段階の実践を進める。グループごとに各ラフイベントを課題として割当て、グループ協議により具体的内容の検討を行い、期末においてグループ発表を行う。
榎本 恒	榎本 専門ゼミナールⅡ	1	経営総合学科	税理士として23年間事務所経営を営んでいる担当教員が、FPの実践を通じた段階教育の最終段階の実践を進める。各自の卒業後の将来キャッシュフロー計算書を作成する作業を通じて、自分の将来をしっかりと考えることを目的とする。
榎本 恒	法人税演習	1	経営総合学科	国家資格受験予備校の講師を15年間経験している担当教員が、検定における得点力を養成することを目的として講義時間内において講義と演習を反復し、具体的な注意事項を解説する。
岩淵 昭子	管理会計	2	経営総合学科	経営者の意思決定に役立つ会計情報に関心や興味を持つ学生を対象にベンチャー企業の設立や中小企業の経営企画・経理・総務の役員・役職の経験がある他、管理会計手法に関する海外企業の視察経験を有する教員が担当する。現代の企業において、事業を成功させるためには、有形資産よりも無形の資産の方が重要だといわれている。また、企業だけでなく公的な組織においても、経営の可視化が求められているので、管理会計は財務指標だけでなく非財務指標も測定対象としている。本講義では、担当教員の経験を踏まえて、主に日本企業の業績管理に関する管理会計の用語や考え方を理解すると共に、戦略の策定と実行に関する知識等も学ぶことを目標としている。
岩淵 昭子	簿記ⅢA	4	経営総合学科	第一種電気通信事業会社の他、数社の起業をし、役員または役職を経験した教員が担当する。日商2級の合格者または同程度の簿記知識習得者を対象として、上級レベルの商業簿記の知識・技能の習得を目指す。本科目における到達目標は全経簿記能力検定1級商簿・会計および原計・工簿程度、日商1級または全経上級とする。
堀内 慎一郎	ビジネスマナー	1	経営総合学科	企業で人事を担当し、採用、人材育成を中心に従事された経験を活かし、社会人としての基礎である、正しいビジネスマナーを身に付けることを目的として授業を展開。正しいビジネスマナーは、円滑な人間関係を築き、人として社会人として信頼されることに繋がり、仕事そのものをスムーズに運ばせる。また、社会人への入り口となる就職活動においても、正しいビジネスマナーは必ず必要となる。本授業では、講義、ディスカッション、反復練習、ケーススタディを通じて、身だしなみや挨拶、言葉遣い、Eメール等のビジネス文書、プレゼンテーション等についての基礎の習得を目指す。
経営総合学科 合計10単位				
岡 聡志	社会的養護Ⅰ	2	こども教育学科	横浜市児童相談所で所長を務められた経歴を活かし、授業を展開する。この科目では社会的養護(児童養護施設、乳児院など)と家庭養護(里親制度、養子縁組制度など)の違いを理解し、保育士としてこのような制度に暮らす子どもたちの課題、問題点に光を当て、どのような支援施策が進められているかを学ぶ。併せて施設実習に繋げる動機づけとして捉えられるよう授業を展開する。
小木曾 宏	子ども家庭福祉	2	こども教育学科	児童自立支援施設、児童相談所、児童養護施設長、合わせて26年間、社会的養護実践に従事してきた。国や千葉県の委員及びスーパーバイザーの経験を活かし、事例研究やロールプレイングなど実践的な演習を取り入れている。「社会的養護」科目では、子ども達の暮らす「社会的養護の現状及び課題」を習得した。本授業では、今日の子どもたちをめぐる諸問題と社会的な背景を理解し、子どもと家族をサポートするための福祉制度や法律などの基礎を学ぶ。また、子どもの権利とは何かについて学び、子ども虐待対応の基礎について学ぶ。
小木曾 宏	保育実習指導Ⅰ	2	こども教育学科	社会的養護施設の現場経験と大学の「実習センター」相談員(12年)の経験を活かし、施設サイドと養成校サイド、両面の視点を持って、実習施設と連携を図りながら実習教育を行っている。本科目では、実習の事前学習、本実習を経て実際の保育実習後の振り返りを行い、実習により学んだ内容の整理を行う。さらに実習指導者から受けた助言や自己覚知できた内容をまとめて発表する。それと同時に利用者と接して、感じられたこと、考えたことを文章化して、クラス全体でディスカッションする。そして、クラス内で実習報告会を実施する。最後に、自己の課題を明確にして、保育実習Ⅱ及びⅢに向けた新たな計画に結びつける。
小木曾 宏	保育実習ⅠB(施設)	2	こども教育学科	千葉県の児童養護施設長、児童相談所職員等、26年間の経験から千葉県内の児童福祉施設との繋がりが強固にある。それにより深い信頼関係を築けている。したがって、実習内容も相互に新たな実践を交えながら行っている。本科目では、実際の児童福祉施設における保育・養護の実際の場面で、児童の日常生活・介助・援助をはじめ、生活指導・遊び・学習指導、保健指導等、日常生活の維持と心身の発達に直接かかわることを体験的に学ぶ。
こども教育学科 合計8単位				